

2017年度（平成29年度）

研究部門名 地球科学研究部門

講座名 地球表層科学講座

教員名 伊藤 慎

電子メール mito 理 faculty.chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者 等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・ 号	頁	発行・発表 年等	掲載論文のDOI(付与されている 場合)
(1)	Shibata, K., Adhiperdana, B.G., and Ito, M.	Quantitative reconstruction of cross-sectional dimensions and hydrological parameters of gravelly fluvial channels developed in a forearc basin setting under a temperate climatic condition, central Japan	Sedimentary Geology	363	pp. 69-82	Elsevier, 2018	Doi.org/10.1016/j.sedgeo.2017. 10.014

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 5名
- ・大学院博士 2名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

(4) 国際会議出席と招待リスト

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

所属	職名	氏名	共同研究名	研究内容	年度
	外国人特別研究員	Hannah L. Brooks	深海底での地層形成における侵食堆積作用の影響	海底谷ならびに海底チャネル末端部における重力流による堆積侵食作用とこれらの地層記録をモデル化する	29

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など

Island Arc 誌 編集顧問

Journal of Marine and Petroleum Geology 誌編集委員（Associate Editor）

石油技術協会理事

東京地学協会 ・アドバイザー

・普及・啓蒙活動助成対象者選考委員会委員長

千葉県土石採取対策審議会委員

千葉県地学教育研究会会長

(9) 特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）